

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学 校 法 人 純 真 学 園

(2) 大 学 名

純 真 学 園 大 学

(3) 大学の位置

〒 8 1 5 － 8 5 1 0
福岡県福岡市南区筑紫丘1丁目1番1号

(4) 管理運営組織

職 名	届 出 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	フクダ ヨウノスケ 福田 庸之助 平成12年2月17日		
学 長	フクダ ヨウノスケ 福田 庸之助 平成23年4月1日		
保健医療 学 部 長	カトウ リョウジ 加藤 亮二 平成23年4月1日		
看護学科長	イノウエ エツコ 井上 悦子 平成23年4月1日	フタエサク キヨコ 二重作 清子 平成23年4月1日	平成23年4月1日 一身上の都合により、 就任辞退（23）
放射線技術科 学科長	ウメザキ ノリヨシ 梅崎 典良 平成23年4月1日	オニヅカ ヨシヒコ 鬼塚 昌彦 平成23年4月1日	平成23年4月1日 健康上の理由により、 変更（23）
検査科学科長	カトウ リョウジ 加藤 亮二 平成23年4月1日	ナカノ タダオ 中野 忠男 平成23年4月1日	平成23年4月1日 業務上の都合により、 変更（23）
医療工学科長	イワハシ マサクニ 岩橋 正國 平成23年4月1日		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
- (例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)
- 平成23年度に報告する内容 → (23)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は，平成20年度開設の4年制の学科の場合（平成23年度までの4年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し，5年以上の場合には，欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の 名称（学位）	設 置 時 の 計 画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 看護学科 学士（看護学）	4 年	80 人	— 年次 人	320 人	
放射線技術科学科 学士（保健衛生学）	4	60	—	240	
検査科学科 学士（保健衛生学）	4	60	—	240	
医療工学科 学士（保健衛生学）	4	40	—	160	
計		240		960	

- (注) ・ 定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区 分	対象年度	平成 2 3 年度		平成 2 4 年度		平成 2 5 年度		平成 2 6 年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員		人 (240) [-]	人	人 (-) [-]	人	人 (-) [-]	人	人 (-) [-]	人	1.11 倍	
志願者数		(541) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]		
受験者数		(518) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]		
合格者数		(394) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]		
B 入学者数		(267) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]		
入学定員超過率 B／A		1.11		-		-		-			

- (注) ・ （ ）内には，編入学の状況について外数で記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，(())書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。

- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5)－③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 267	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
2年次			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
3年次					[-]	[-]	[-]	[-]	
4年次							[-]	[-]	
計							[-]	[-]	

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学者数、留学整数を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	退学者数（a）	在学者数（b）	入学者に対する 退学者数の割合 （a/ b）
平成２３年度 （平成23年4月1日～ 平成24年3月31日）	計 []	（累積）計 []	%
	うち平成２３年度入学者 人	うち平成２３年度 人	
	（主な退学理由）		
平成２４年度 （平成24年4月1日～ 平成25年3月31日）	計 []	（累積）計 []	%
	うち平成２３年度入学者 人	うち平成２３年度 人	
	うち平成２４年度入学者 人	うち平成２４年度 人	
	（主な退学理由）		
平成２５年度 （平成25年4月1日～ 平成26年3月31日）	計 []	（累積）計 []	%
	うち平成２３年度入学者 人	うち平成２３年度 人	
	うち平成２４年度入学者 人	うち平成２４年度 人	
	うち平成２５年度入学者 人	うち平成２５年度 人	
	（主な退学理由）		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。

・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。

・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。

・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<保健医療学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	リメ ディ アル	生物	1 前			2						
		化学	1 前			2						
		物理	1 前			2	1					
		数学	1 前			2						
	科 学 リ テ ラ シ ー	基礎生物学	1 前		2				1			
		基礎化学	1 前		2							
		基礎物理学	1 前		2							
		基礎数学	1 前		2							
		統計学	1・2 前	2			1					
		ライフサイエンス入門	1・2 前		2							
		情報処理入門	1・2 前	1								
		情報処理応用	1・2 後		1							
	人 間 の 理 解	哲学	1・2 前		2							
		心理学	1・2 後	2								
		宗教と文化	1・2 前		2							
		歴史から学ぶ	1・2 後		2							
		文学の世界	1・2 前		2							
		芸術と創造	1・2 後		2							
		ジェンダー論	1・2 前		2							
	社 会 の 理 解	暮らしの中の法律	1・2 前		2							
		教育論	1・2 前		2							
		経済と社会	1・2 前		2							
		地球と環境	1・2 後		2							
		暮らしの中の救急法	1・2 後		1							
		ボランティア論	1・2 後	2								
		社会人セミナー	1 前	1			1					体調不良による就任遅延の理由によりH23のみ兼任教員として担当(23)
	外 国 語	英語Ⅰ	1・2 前	2								
		英語Ⅱ	1・2 後	2								
		ドイツ語Ⅰ	1・2 前		1							
		ドイツ語Ⅱ	1・2 後		1							
		中国語Ⅰ	1・2 前		1							
		中国語Ⅱ	1・2 後		1							
		韓国語Ⅰ	1・2 前		1							
		韓国語Ⅱ	1・2 後		1							

専門教育科目	科専共 目門通		医現 療代	生命・医療倫理学	1 後	1							
			医チ 療ム	医療連携の基礎	1 前	1			-1				一身上の都合による就任辞退の理由 により担当者を変更(23)
	学科専門科目	専門基礎科目	人 体 の 構 造 と 機 能 の 促 進	形態機能学Ⅰ	1 前	1			1				
				形態機能学Ⅱ	1 前	1							
				栄養・代謝学	1 後	1							
				医学概論	1 前	1			1				
				臨床病態学Ⅰ	1 後	1			1				
				臨床病態学Ⅱ	1 後	1			1				
				病理学	1 後	1							
				臨床薬理学	1 後	1							
			社健 会保 障支 援と 制度	健康科学	1 前		1						
				ヘルスプロモーション入門	1 後	1			-1				一身上の都合による就任辞退の理由 により担当者変更予定 (後任未定) (23)
				医療情報学	1 後		1						
				公衆衛生学	1 後	1							
				保健統計学	1 後	1			1				
	専門科目	専門分野Ⅰ	看 護 の 基 礎	看護学概論	1 前	2			1 -2				一身上の都合による就任辞退の理由 により担当者数変更(23)
				フィジカルアセスメント技術	1 前	1			1		1	1	
				日常生活援助技術	1 後	2			1		1	1	
				カウンセリングの理論と技法	1 後		1						
		専門分野Ⅱ	成 人 看護学	成人看護学概論	1 後	2			1				
			小 児 看護学	小児看護学概論	1 後	1			1				
			精 神 看護学	精神看護学概論	1 後	1				1			

- (注) ・ 認可申請書の様式第' 2 号 (その' 2 の' 1) に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て (兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。) を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時 (平成' 2' 2 年度に認可された大学等は設置認可時) より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について, 設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等 (平成' 1 9 年度認可以前) についても, 設置認可時の状況を黒字で記載してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても, 「(' 1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし, 「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません) 。

(2) 授業科目数

認 可 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目 26	科目 26	科目 4	科目 56	科目 26 [0]	科目 26 [0]	科目 4 [0]	科目 56 [0]	

- (注) ・ 未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する (資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。) とともに, [] 内に, 設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例: ' 1 科目減の場合: △' 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，（１）「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}}$	=	<table border="1"><tr><td>0.00</td></tr></table>	0.00
0.00			

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<保健医療学部 放射線技術科学科>

(1) 授業科目表

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	リメディアル	生物	1 前			2						
		化学	1 前			2						
		物理	1 前			2						
		数学	1 前			2						
	科学リテラシー	基礎生物学	1 前		2							
		基礎化学	1 前		2							
		基礎物理学	1 前	2			1					
		基礎数学	1 前	2								
		統計学	1・2 前	2								
		ライフサイエンス入門	1・2 前		2							
		情報処理入門	1・2 前	1								
		情報処理応用	1・2 後	1								
	人間の理解	哲学	1・2 前		2							
		心理学	1・2 後		2							
		宗教と文化	1・2 前		2							
		歴史から学ぶ	1・2 後		2							
		文学の世界	1・2 前		2							
		芸術と創造	1・2 後		2							
		ジェンダー論	1・2 前		2							
	社会の理解	暮らしの中の法律	1・2 前	2								
		教育論	1・2 前		2							
		経済と社会	1・2 前		2							
		地球と環境	1・2 後		2							
		暮らしの中の救急法	1・2 後	1								
		ボランティア論	1・2 後	2								
		社会人セミナー	1 前	1			1					
	外国語	英語Ⅰ	1・2 前	2								
		英語Ⅱ	1・2 後	2								
		ドイツ語Ⅰ	1・2 前		1							
		ドイツ語Ⅱ	1・2 後		1							
		中国語Ⅰ	1・2 前		1							
		中国語Ⅱ	1・2 後		1							
		韓国語Ⅰ	1・2 前		1							
		韓国語Ⅱ	1・2 後		1							

専門教育科目	専門科目	共通	医現代	生命・医療倫理学	1 後	1							
			チ医療	医療連携の基礎	1 前	1			1				梅崎教授の体調不良により、今年度のみ井手口教授が担当
	学科専門科目	専門基礎科目	応用科学	応用生物学	1 後		2			1			
				応用化学	1 後		2						
				応用物理学	1 後		2			1			
				応用数学	1 後		2						
専門教育科目	学科専門科目	専門基礎科目	医学的基礎	解剖学（人体構造学）Ⅰ	1 前	2							
				解剖学（人体構造学）Ⅱ	1 後	2							
				生化学	1 後	1							
				病理学	1 後	2							
				衛生学	1 前	1							
				公衆衛生学	1 後	1							
				放射線医科学概論	1 後	2			5				
			放射線工学的基礎及び	医用電気工学	1 後	1							
				診療放射線技術学概論	1 前	1			1				
				放射線物理学Ⅰ	1 後	1			1				

- （注）
- 認可申請書の様式第' 2 号（その' 2 の' 1）に準じて作成してください。
 - 設置認可時の授業科目全て（兼任，兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成' 2' 2 年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
 - 授業科目を追加又は内容を変更する場合で，専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては，「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には，「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - 「配当年次」について，設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成' 1 9 年度認可以前）についても，設置認可時の状況を黒字で記載してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても，「（' 1）授業科目表」にはその状況を反映させてください。（ただし，「（3）未開講科目」欄には記載する必要はありません）。

（2） 授業科目数

認 可 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
23	23	4	50	23	23	4	50	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- （注）
- 未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，[] 内に，設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：' 1 科目減の場合：△' 1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，（１）「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}}$	=	<table border="1"><tr><td>0.00</td></tr></table>	0.00
0.00			

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<保健医療学部 検査科学科>

(1) 授業科目表

科目区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
教養教育科目	リ メ デ イ ア ル	生物	1 前			2						
		化学	1 前			2		1				
		物理	1 前			2						
		数学	1 前			2						
	科 学 リ テ ラ シ ー	基礎生物学	1 前	2					1			
		基礎化学	1 前	2				1				
		基礎物理学	1 前		2							
		基礎数学	1 前		2							
		統計学	1・2 前		2							
		ライフサイエンス入門	1・2 前		2				1			
		情報処理入門	1・2 前		1							
		情報処理応用	1・2 後		1							
	人 間 の 理 解	哲学	1・2 前		2							
		心理学	1・2 後		2							
		宗教と文化	1・2 前		2							
		歴史から学ぶ	1・2 後		2							
		文学の世界	1・2 前		2							
		芸術と創造	1・2 後		2							
		ジェンダー論	1・2 前		2							
	社 会 の 理 解	暮らしの中の法律	1・2 前		2							
		教育論	1・2 前		2							
		経済と社会	1・2 前		2							
		地球と環境	1・2 後		2							
		暮らしの中の救急法	1・2 後		1							
		ボランティア論	1・2 後	2								
		社会人セミナー	1 前	1			1					
	外 国 語	英語Ⅰ	1・2 前	2								
		英語Ⅱ	1・2 後	2								
		英会話Ⅰ	1・2 前	1								
		英会話Ⅱ	1・2 後	1								
		ドイツ語Ⅰ	1・2 前		1							
		ドイツ語Ⅱ	1・2 後		1							
		中国語Ⅰ	1・2 前		1							
		中国語Ⅱ	1・2 後		1							
		韓国語Ⅰ	1・2 前		1							
		韓国語Ⅱ	1・2 後		1							

専門教育科目	科専共通		医現	生命・医療倫理学	1 後	1							
			医療連携	医療連携の基礎	1 前	1			2				
	専門教育科目	学	科専	基礎科目	人体の構造と機能	解剖組織学Ⅰ	1 前	1			1		
						解剖組織学Ⅱ	1 後	1			1		
						解剖組織学実習	1 後	1			1		1
						生理学Ⅰ	1 前	1					
						生理学Ⅱ	1 後	1					
						生化学Ⅰ	1 前	1			1		
						生化学Ⅱ	1 後	1			1		
				医学検査の基礎	検査学概論	臨床検査体験演習	1 前	1			1		1
						医学概論	1 前	1					
						病理学Ⅰ	1 後	1					
						微生物学	1 後	1			1		
						有機化学	1 後		1		1		
						無機化学	1 後		1		1		
						公衆衛生学	1 前	1					
		情報科学	情報科学	医用工学概論	情報科学概論	1 前	1						
					医用工学概論	1 前	1						
					医用工学実習	1 後	1						
		科専	科目	学	検査学	一般検査学Ⅰ	1 後	1			1		
						検査機器論	1 前	1				1	

- (注) ・ 認可申請書の様式第' 2 号（その' 2 の' 1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任，兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成' 2' 2 年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で，専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては，「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には，「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について，設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成' 1 9 年度認可以前）についても，設置認可時の状況を黒字で記載してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても，「（' 1）授業科目表」にはその状況を反映させてください。（ただし，「（3）未開講科目」欄には記載する必要はありません）。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
28	26	4	58	28	26	4	58	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，[] 内に，設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：' 1 科目減の場合：△' 1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，（１）「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}}$	=	<table border="1"><tr><td>0.00</td></tr></table>	0.00
0.00			

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<保健医療学部 医療工学科>

(1) 授業科目表

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	リメディアル	生物	1 前			2						
		化学	1 前			2						
		物理	1 前			2						
		数学	1 前			2						
	科学リテラシー	基礎生物学	1 前	2								
		基礎化学	1 前		2							
		基礎物理学	1 前	2								
		基礎数学	1 前	2								
		統計学	1・2 前		2							
		ライフサイエンス入門	1・2 前		2							
		情報処理入門	1・2 前	1						1		
		情報処理応用	1・2 後	1						1		
	人間の理解	哲学	1・2 前		2							
		心理学	1・2 後		2							
		宗教と文化	1・2 前		2							
		歴史から学ぶ	1・2 後		2							
		文学の世界	1・2 前		2							
		芸術と創造	1・2 後		2							
		ジェンダー論	1・2 前		2							
	社会の理解	暮らしの中の法律	1・2 前		2							
		教育論	1・2 前		2							
		経済と社会	1・2 前		2							
		地球と環境	1・2 後		2							
		暮らしの中の救急法	1・2 後		1							
		ボランティア論	1・2 後	2								
		社会人セミナー	1 前	1			1					
	外国語	英語Ⅰ	1・2 前	2								
		英語Ⅱ	1・2 後	2								
		英会話Ⅰ	1・2 前	1								
		英会話Ⅱ	1・2 後	1								
		ドイツ語Ⅰ	1・2 前		1							
		ドイツ語Ⅱ	1・2 後		1							
		中国語Ⅰ	1・2 前		1			1				
		中国語Ⅱ	1・2 後		1			1				
		韓国語Ⅰ	1・2 前		1							
		韓国語Ⅱ	1・2 後		1							

専門教育科目	科専共 目門通		医療現代 医療システム	生命・医療倫理学	1 後	1						
				医療連携の基礎	1 前	1			1		1	
	学科専門科目	専門基礎科目	人体の構造 及び機能	臨床医学総論	1 後 1 前	2						教育効果の観点から配当時期を変更
				解剖学	1 後	2			1			
		臨床工学 学に必要 な基礎	公衆衛生学 医学概論	公衆衛生学	1 前	2						
				医学概論	1 前	1						
		臨床工学 学に必要な 基礎	電気・電子工学概論 直流電気回路 電気数学 応用数学 応用物理学	電気・電子工学概論	1 前	2			1			
				直流電気回路	1 後	2			1			
				電気数学	1 前	2			1			
				応用数学	1・2 後		2					
	科専門	医用生 工学	医療工学 システム工学 に必要 な基礎	情報処理工学	1 後		2		1			
				医用工学	1 後	2			2			

- (注) ・ 認可申請書の様式第'2号(その'2の'1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成'2'2年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成'19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「('1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
28	26	4	58	28	26	4	58	
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[] 内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，（１）「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}}$	=	<table border="1"><tr><td>0.00</td></tr></table>	0.00
0.00			

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分			内 容					備考			
(1)校地等	区 分		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		純真短期大学と共用 (本館 6, 7 階部分は純真高等学校と共用) 借用面積：3,417㎡ (この内、785㎡を大学において借用) 借用期間：25年 借用面積：1,963㎡ (この内、1,641㎡を大学において借用) 借用期間：25年			
	校 舎 敷 地		13,369.03 ㎡	3,711.00 ㎡	1,192.00 ㎡	18,332.03 ㎡					
	運動場用地		9,503.17 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	9,503.17 ㎡					
	小 計		22,872.20 ㎡	3,711.00 ㎡	1,192.00 ㎡	27,835.20 ㎡					
	そ の 他		2,522.80 ㎡	2,340.00 ㎡	0.00 ㎡	4,862.80 ㎡					
	合 計		25,395.00 ㎡	6,111.00 ㎡	1,192.00 ㎡	32,698.00 ㎡					
(2)校 舎			専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
			20,956.45 ㎡ (20,956.45 ㎡)	9,928.04 ㎡ (9,928.04 ㎡)	6,443.75 ㎡ (6,443.75 ㎡)	37,328.24 ㎡ (37,328.24 ㎡)					
(3)教 室 等			講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	平成23年度4月において、組織変更が行われた為 (23) (補助職員 ➔2人)			
			45 室	12 室	25 室	3 室 2 (補助職員 ➔2人)	0 室 (補助職員 0 人)				
(4)専任教員研究室			新設学部等の名称			室 数		申請学部全体			
			保健医療学部			68 室					
(5)図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書充実を図る為 (23)		
		保健医療学部	14,815 [2,619] 13,094 (2,745) (13,015 [2,619])	81 [57] (81 [57])	8 [7] (8 [7])	450 (411)	10,243 (10,243)	41 (41)			
		計	14,815 [2,619] (13,015 [2,619])	81 [57] (81 [57])	8 [7] (8 [7])	450 (411)	10,243 (10,243)	41 (41)			
	(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体	
		2,700.57 ㎡		339 席		98,000 冊					
(7)体 育 館			面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				純真短期大学と共用		
			2,160.00 ㎡		運 動 場 2 面		テ ニ ス コ ー ト 3 面				
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分		開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費 (運用コスト含む) を含む。	
		教 員 1 人 当 り 研 究 費 等		300 千円	300 千円	図書購入費	5,500 千円	5,500 千円	5,500 千円		
		共 同 研 究 費 等		1,200 千円	1,300 千円	設備購入費	20,000 千円	20,000 千円	20,000 千円		
	学生 1 人 当 り 納 付 金	保健医療学部	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次			
		看護学科	1,600 千円	1,400 千円	1,400 千円	1,400 千円	- 千円	- 千円			
		診療放射線技術科学科学科	1,600 千円	1,400 千円	1,400 千円	1,400 千円	- 千円	- 千円			
		検査科学科	1,500 千円	1,300 千円	1,300 千円	1,300 千円	- 千円	- 千円			
		医療工学科	1,500 千円	1,300 千円	1,300 千円	1,300 千円	- 千円	- 千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要			該当なし							

- （注）・ 設置認可時の計画を，認可申請書の様式第 2 号（その 1 の 1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。）
- 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - 「（5）図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成 2 3 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（23）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお，昨年度の報告において赤字で見え消した部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
 - 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称		東 和 大 学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	環境デザイン工 学科 情報学科 医療電子工学科 平成19年度より 学生募集停止
工学部	年	人	年次 人	人		倍		福岡県福岡市南区 筑紫丘1丁目1番1号	
環境デザイン学科	4	-	-	-	学士（工学）	-	平成16年度		
情報学科	4	-	-	-	学士（工学）	-	平成16年度		
医療電子工学科	4	-	-	-	学士（工学）	-	平成16年度		
大学 の 名 称		純 真 短 期 大 学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	食物栄養学科 平成19年度定員 増（50→80）
食物栄養学科	2	80	-	160	短期大学士 （食物栄養）	0.93	平成18年度	福岡県福岡市南区 筑紫丘1丁目1番1号	
こども学科	2	100	-	200	短期大学士 （幼児教育）	0.95	平成18年度		
大学 の 名 称		埼 玉 純 真 短 期 大 学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	こども学科 平成23年度より 入学定員減 （150→120）
こども学科	2	120	-	240	短期大学士 （幼児教育）	1.05	（ 13,015 平成16年度	埼玉県羽生市下岩瀬 430番地	

（注）・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・ 認可申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「－」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成22年10月)	(1)設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	(1)・学生教育については、建学の精神” 気品・知性・奉仕” についての理想を掲げ、学生が設置の趣旨に基づき早期に教育目的を理解するよう以下の内容を実践する予定である。 ①チーム医療能力を付加させるための” 医療連携の基礎科目” の実施 ②医療人としての資質を養うために” 社会人セミナー科目” の実施 ③リメディアル” 数学・生物・化学・物理” 教育の実施 ④少人数学生に対するSG教員の設置 ⑤他職種連携教育 (IPE)実施委員会の設置 ・教員については、以下の内容を実施する予定である。 ①FD研修会の実施 新任教員の研修会 ②教育活動の活性化を達成できるように学部長を中心とした学部運営会議を設置し、学内委員会活動をサポートする。	(1)実施中
	(2)運動場が別地にあることから、教育に支障がないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	(2)カリキュラム上は、「体育」「体育実技」の科目はないので、特に授業に支障があるわけではない。しかしながら、学生が主体となって行う運動場を必要とする課外活動（クラブ活動・同好会活動等）が、支障なく行えるように大学として十分に配慮していく予定である。	(2)実施中
	(3)教員の年齢構成が高いため、教育研究の継続性を踏まえ、今後の採用計画など、教員組織編成の将来構想を着実に実行すること。（特に後任の教員の採用にあたっては、教授及び准教授も含めて公募を行うことが望ましい。）	(3)以下の内容を実施する予定である。 ①教員組織編成の計画をもとに公募計画（看護）を準備中 ②教員の資質を向上させるための定期的・継続可能な自主研修制度の構築 ③地域の研究施設と共同研究が可能な研修制度の構築	(3)実施中
	(4)専任教員の補充を必要とされた1授業科目（「放射線腫瘍学」）については、科目開設時までには教員を充足すること。 （なお、同科目については、放射線診断に関する教育のみならず、放射線治療に関する教育も重要であることから、授業科目内容を改めるとともに、放射線に係る診断及び治療の各々について十分な教育が行えるような指導体制となるよう留意すること。）（放射線技術科学科）	(4)「放射線腫瘍学」については、平成24年度前期の科目であるが、内容の変更について現在検討中であり、専任教員の補充作業についても行っている。	(4)実施中
	(5)純真短期大学こども学科の入学定員比の平均が0.7倍未満となっていることから、今後の定員充足の在り方について検討すること。	(5)①教職員による募集活動の強化、②地元の子育て支援施設である子どもプラザの運営開始による本学の知名度アップ等により定員充足率の向上を目指す。	(5)①②を実施中
	(6)学生等の募集を停止中の純真中学校については、再開するか否かなどについての検討を速やかに行い、適切な措置を講ずること。	(6)現在募集停止中の純真中学校に関しては、平成21年3月を以って全徒が卒業したことで、実質休校状態となっている。今後の中学校のあり方については理事会においても問題提起し様々な意見が出たが、県とも協議した結果、将来的には再開があるにしても、一旦は廃校届けを提出するということで、理事会においても承認をされた。事務的な手続きに関しては、今後県及び文部科学省との協議の上進めていきたいと考えている。	(6)検討中

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (平成23年5月)	(1)設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	(1)別紙参照	(1)実施中
	(2)運動場が別地にあることから、教育に支障がないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	(2)カリキュラム上は、「体育」「体育実技」の科目はないので、特に授業に支障があるわけではない。しかしながら、学生が主体となって行う運動場を必要とする課外活動（クラブ活動・同好会活動等）が、支障なく行えるように大学として十分に配慮していく。現在、運動クラブ等の設立及び運動場を使用するような催事の開催等の要望はないが、今後、本学と運動場との間に必要に応じて送迎バスの運行を予定している。また、学生係が窓口となり、学生との連絡をとり、諸活動がスムーズに実施できるように運動場の利用スケジュール管理を行っていく。	(2)実施中
	(3)教員の年齢構成が高いため、教育研究の継続性を踏まえ、今後の採用計画など、教員組織編成の将来構想を着実に実行すること。（特に後任の教員の採用にあたっては、教授及び准教授も含めて公募を行うことが望ましい。）	(3)別紙参照	(3)実施中
	(4)専任教員の補充を必要とされた1授業科目（「放射線腫瘍学」）については、科目開設時までに教員を充足すること。 （なお、同科目については、放射線診断に関する教育のみならず、放射線治療に関する教育も重要であることから、授業科目内容を改めるとともに、放射線に係る診断及び治療の各々について十分な教育が行えるような指導体制となるよう留意すること。）（放射線技術科学科）	(4)「放射線腫瘍学」については、平成24年度前期の科目であるが、内容の変更については詰め作業を行っており、専任教員の補充作業についても教員審査を含めて今年度中に補充教員を決定する予定である。	(4)実施中
	(5)純真短期大学こども学科の入学定員比の平均が0.7倍未満となっていることから、今後の定員充足の在り方について検討すること。	(5)平成23年度は入学定員充足率を0.95へ向上させることができた。この要因は、認可時(平成22年10月)①②に加えて③保育士需要の増加や④平成23年春の純真学園大学の開設も追い風になったと推定できる。	(5)今後、現在提携中の二校との高大連携の強化あるいは平成25年度以降の小学校課程の廃止を含めた見直し等により入学定員100%充足を目指す。
	(6)学生等の募集を停止中の純真中学校については、再開するか否かなどについての検討を速やかに行い、適切な措置を講ずること。	(6)現在募集停止中の純真中学校に関しては、平成21年3月を以って全徒が卒業したことで、実質休校状態となっている。今後の中学校のあり方については理事会においても問題提起し様々な意見が出たが、県とも協議した結果、将来的には再開があるにしても、一旦は廃校届けを提出するというところで、理事会においても承認をされた。事務的な手続きに関しては、今後県及び文部科学省との協議の上進めていきたいと考えている。	(6)検討中

(注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<保健医療学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 施設・設備 a 実習室 (480.20㎡)	① 学生の修学環境を改善するため, 既存の施設を専用の実習室として用途を変更する。(専用実習室面積: 1150.08㎡)

<保健医療学部 放射線技術科学科>

(1) 設置計画変更事項等

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 施設・設備 a 実習室 (707.40㎡)	① 学生の修学環境を改善するため, 既存の施設を専用の実習室として用途を変更する。(専用実習室面積: 846.16㎡)

<保健医療学部 検査科学科>

(1) 設置計画変更事項等

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 施設・設備 a 実習室 (707.23㎡)	① 学生の修学環境を改善するため, 既存の施設を専用の実習室として用途を変更する。(専用実習室面積: 2859.75㎡)

<保健医療学部 医療工学科>

(1) 設置計画変更事項等

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 施設・設備 a 実習室 (637.12㎡)	① 学生の修学環境を改善するため, 既存の施設を専用の実習室として用途を変更する。(専用実習室面積: 1371.15㎡)

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で, 設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成23年4月1日付け就任教員が多数であるためFD委員会設置が困難であったため、教務委員会がFD委員会の役割を兼ねた。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成23年4月1日の辞令交付式の後に平成23年度就任教員全員（40名）に対し「教授法の更なるスキルアップ」というテーマでFDを実施した。

c 委員会の審議事項等

学長挨拶 13:00 ～ 13:30 純真学園大学長 福田 庸之助「大学のミッションとFD」

FDの意義 13:00 ～ 13:50 保健医療学部長 加藤 亮二 「教育能力を高めるために！」

各学科長による模擬授業

14:00 ～ 14:20 看護学科長 二重作 清子「基礎看護学概論」

14:20 ～ 14:40 放射線科学技術科学科長 鬼塚 昌彦「模擬授業」

15:00 ～ 15:20 検査科学科長 中野 忠男 「院内感染症と微生物」

15:20 ～ 15:40 医療工学科長 岩橋 正國 「これまでの教員経験を振り返って」

15:40 ～ 16:00 総括 保健医療学部長 加藤 亮二

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 大学のミッションとFDの意義
- ・ 授業方法について研究会
- ・ FD実施に伴うアンケート調査
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ 新任教員のための研修会

b 実施方法

- ・ 講義形式が主体であったが、総括において活発な討論を行った。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 40名の教員の全員の参加で実施した

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 実施後、直ちにアンケート調査を実施した。また、実施詳細を冊子としてまとめ今後のFD実施の基礎資料として残すことにした。本設置計画履修状況報告書に根拠資料として添付した。本学関係規定として「純真学園大学ファカルティー・ディベロップメント委員会規定（規定番号22-306）」を添付した。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙参照

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成27年10月1日 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、理事会・全教職員及び関係機関（在団法人 大学基準協会・近隣の大学等）に配布
・大学ホームページ上に公開予定（平成27年12月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成27年度に評価機関（財団法人 大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成23 年 10 月 1 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(☒ 承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。